

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

サルコペニアが腹腔鏡下大腸癌切除術の短期・長期成績に与える影響の検討

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科 辻仲 眞康

【研究の対象となる方】

2016年1月1日から2017年12月31日の間に、当科で腹腔鏡下に大腸癌切除の手術を受けた患者さんです。

【研究の目的・方法】

我が国において、大腸癌は年々増加しています。近年、従来通りの開腹での手術ではなく、侵襲（お身体へのダメージ）が少ない腹腔鏡での大腸切除術が一般的になってきております。ご存知の通り日本は高齢社会となっており、サルコペニアという概念が新たに出来ました。このサルコペニアとはすなわち、加齢現象に伴う筋肉量の低下と考えていただいてもかまいません。

これまでの研究では、一般的にサルコペニアとなっている患者さんにおいて手術の合併症率は高いことがわかっています。また手術が終わってからの長期予後、これは癌が再発しないで経過する期間のことですが、この期間も少し短いという報告もあります。

そこでわれわれは、このサルコペニアを有する患者さんが、腹腔鏡下での手術を受けられた際に、手術に伴う合併症の割合は多いのか、また切除後の長期予後はどうなるのか研究したいと考えております。

【研究に用いる試料・情報の種類】

情報：年齢、性別、併存症の有無、CT画像所見、手術時間、出血量、手術中および手術後の合併症、再発までの期間等。

【研究期間】

この研究の期間は、2021年4月29日から2022年3月31日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

腹腔鏡下で大腸癌の手術を受けたものの、大腸のどの部分の切除を受けたかが分からない（もしくは治療したかが分からない）ため、ご自身の診療録を研究に使用されたくない方もお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847
自治医科大学附属さいたま医療センター
Tel.048-647-2111

研究責任者：一般・消化器外科（辻仲 眞康）

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター
総務課 TEL048-648-5225